

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）



げんきぼ通信

2023年2月21日（火）

文責：福園 唯

麺から手作り！～波乱万丈、カレーうどん作り～

先月はクッキング昼食作りでカレーうどんを作りました。

冬休みのそばうちの際に「うどんも作ってみたい！」との声があったので、麺から手作りしてみることに。3グループに分かれての作業でしたが、3・4年生がいるグループは喧嘩もするけど、譲り・譲られ、順番や役割を決めたり、臨機応変に対応しながら作業を進めていました。一方で1・2年生だけのグループは「自分がやりたい！」という気持ちが強すぎて喧嘩ばかり。順番を決めても忘れてしまって揉めたり、言い方がきつくてへこんだり。トラブルだらけで作業もなかなか進まずでした。

喧嘩もたくさんありましたが、気持ちの切り替えも早く、カレーうどんが完成する頃にはすっかり仲良しな学童さん。ズルズルッとうどんをすする良い音が部屋に響きわたり「おいしい！」とみんな大満足でした。冷凍うどんがあったので食べ比べもしました。「冷凍のほうがのどごしが良いけど、味は学童うどんのほうがおいしい！」と子どもたち。おかわりもたくさんして、あっという間に完食でした。クッキングから日が経っても「先生、この前のカレーうどん美味しかったよね」「また作りたい！」と話していて、よっぽど美味しかったようでとても嬉しく思います。

「やりたい気持ち」は大切です。意欲があることはとても良いことだと思います。でも、そればかりではみんなでの活動は成り立ちません。やりたいのは自分だけではなく、みんな一緒です。だから互いに譲り合い、協力して作業を進めていく。そうすると自然と作業もスムーズになるし、みんなで楽しくできる。今回のクッキングを通して、1・2年生はそのことを身をもって感じたことと思います。

振り返ると、3・4年生も最初は自分の主張ばかりでした。でも、学年が上がり、いろんな経験を重ねるなかで、いつのまにか頼れるお兄さん・お姉さんへと成長していたんだな、と発見でもありました。学童での生活や活動が、少しでもみんなの成長につながっていたらいいな、と思います。今は自分のことで精一杯な1・2年生ですが、これからの成長が楽しみです！（^^）



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 豊永 祥子

解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峰 友理子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-5473-5866)